

丹精込めた菊花 咲き誇る

第25回和合の里秋まつりの期間中（10月29日～11月6日）、和合秋香会による菊花展が11月1日から3日まで第四公民館ホールで開催された。会員の皆さんが、



▲県知事賞を受賞した
土田善男さんと「国華越山(こっかえつざん)」

【優秀花特別賞】

- ・山形県知事賞 [一般花厚物第一位] 土田 善男 (堤新田)
- ・庄内町長賞 [一般花厚物第二位] 梅木 宏輝 (廻館)
- ・余目第四公民館長賞 [一般花厚物第三位] 三浦 修次 (福島)
- ・庄内がわ農業協同組合長賞 [一般花管物第一位] 森居 繁子 (沢新田)
- ・和合秋香会長賞 [競技花厚物第一位] 工藤 恒夫 (古閑)
- ・和合秋香会長賞 [競技花管物第一位] 志田 健 (古閑)

春から手塩にかけて育てた菊花147点を一堂に展示。

「和合秋香会の前身である大和秋香会から数えて今年で第50回目となる。これも会員の皆さんのが菊花に対する情熱と努力の賜物」と話す三浦修次会長（福島）。期

間中、新聞でも紹介され、町内外からたくさんの人が訪れ、色とりどりの見事な大輪の菊を楽しんだ。

美しく咲き誇った花は、厳選なる審査のもと各賞が決定し、表彰が行われた。

本物に触れる 箏(こと)体験教室（余目第四小学校 11月14日）

第四小学校では、本物に触れる体験を大切にしており、このたび6年生を対象とした「箏教室」を行った。四小講堂に箏林会酒田支部の方を講師に招き、箏の歴史や楽譜の読み方、楽器の特徴などを学んだ。

先生方の美しい演奏を聴いたあ

とに、実際に箏の演奏に挑戦すると、弦を鳴らすのに思いのほか力が必要で苦戦したものの最後には何とか合奏できるほどになった。

実際に音を聞き楽器に触れたことで興味を持ち、箏について調べ始めた子ども達もいた。伝統楽器の魅力を知る貴重な機会になった。



▲先生が弾く一音一音に集中する児童たち

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

12月29日(木)～1月3日(火)は
年末年始休館です。

1月10日(火)は、全館清掃日で
午後5時からの開館になります。
ご協力をお願いします。

編集後記

早いものであと数日で今年も終わり。振り返ってみると今年は、公民館事業を通して地域の歴史文化にたくさん触ることができた。子ども達といっしょにお宝（町指定文化財）調べをしたり、春から手掛けた「材料からとことん手作り“由右エ門ほうき”」の制作、縄を縋って干し柿

を吊るしたり、ミニ門松作りなど。また、親子では郷土料理作りにも挑戦。笹巻作りや芋煮、豆腐を作って納豆汁を食べたり…。ちょっと昔の日常を今はわざわざでないと体験できない。体験すること、それは大切なことだなあ～と思った。子ども達に繋いでいくには、まずは私たち親世代から！



No.114
2016.12.20

題字：三浦修次



伝承の技、ここにあり！由右エ門ほうき作り

（“ジュニカレ和合塾”的ひとコマ）

主な掲載記事

おらほの民俗行事	2	亀治からのメッセージ	5
むかしあそび	2	よつばっこ通信	6
おっきぐなれの～	3	こうなってほしちゃ	6
こんにちは！保健師です	4	健康レシピ	7
畠からこんにちは	4	わごう交番	7
		地域インフォメーション	8

おらほの民俗行事 [No.11]

新田目部落行事

新田目部落会長 佐藤 正美 氏

1年の主だった行事は、1月1日年頭、1月下旬大払い。桜咲くころ4月17日三上神社の祭典、のぼり立て、準備。11月お年寄りたちの笑顔咲く敬老会、末に冬支度の宮廻い。12月は、新年を迎える準備として公民館や周辺の大掃除などがあります。

また、伊勢講の行事も行っています。3月、11月の年2回の行事です。昭和28年の新講規約の書類がありますが、始まりは部落全戸男性17人・女性17人の参加でした。規約の中に「2年に1度代表2人で伊勢神宮へ参拝すること」とありました。今から考えると交通機関の不便な昔は、大変なことだったと思います。

私たちも平成15年に7人で念願の伊勢神宮参拝を実現しました。



▲ 平成15年、新田目伊勢講念願の伊勢神宮参拝が実現

むかしあたり こま回し

1~2メートルぐらいのひもの端を両手でつかみ、地面で回っている鉄輪のこまをひもでくい上げる。ひもであやつり、こまを左右に振ったり、高く上げてひもで受けたりして、こま回しの腕を競った。上手になると連続技をして回す子もいた。いろいろの技があった。

手ぬぐい取り

手ぬぐいを左手の親指と人差し指の間ににおいて、相手から手ぬぐいを引かれそうな時、親指と人差し指で手ぬぐいを手早くつかむ。手ぬぐいを取られると負ける。

かるたとり

- 好きな文をつくり、文にあった絵を画用紙に書いて絵札にした。
- 文を聞きとて、早く絵札に手を出した子がかるたを取った。
- 何枚取ったかで勝敗が決まった。



子どもの本の正月号には付録として付いていた。

昭和20年代～、当時の子ども達はどんな遊びをしていたのか…遊び道具の少ない時代、創意工夫された懐かしい遊びを紹介

長南一美氏[ダシ風物語記念館 館長]

健康レシピ

材料(5人分)

鮭の切り身…200g
ジャガイモ…3コ
人参…中1本
もやし…1/2袋
冷凍コーン…50g
豆腐…1丁
長ネギ…2本
しょうが、味噌…適量
ニンニク、バター…適量

作り方

- 野菜を切る。
・ジャガイモは皮をむいて1コを4つ割
・人参は、いちょう切り
・豆腐は、大きめのさいのめ切り
・長ネギは、厚めのななめ切り
- ジャガイモと人参を煮る。
鮭を加え、もやし・コーン・長ネギ豆腐を入れて、味付けをする。

寒い日には
これっ!

具だくさんで体ぽかぽか
道産子汁



ひとくちメモ

スーパーフード 鮭に秘められていた健康&美容効果を10個ご紹介!

- | | | | |
|-----------|----------------------------|-------------------------|------------|
| ■ 5つの健康効果 | ①疲れた体を回復させる
④血管の健康を維持する | ②痛風の予防・改善
⑤精神面も健康にする | ③脳の健康を維持する |
| ■ 5つの美容効果 | ①アンチエイジング効果
④肥満の予防・改善効果 | ②肌をぷるぷるにする
⑤育毛効果 | ③肌荒れの予防・改善 |

※より効果的に取り入れる方法…皮ごと食べる、焼きすぎない、煮る・蒸す調理法がおすすめ、ビタミンCと一緒に食べる、大豆と一緒に食べる、調理する時はオリーブオイルを使う

「ココロとカラダの教科書」より

わざう交番

年末年始の交通事故防止

降雪時期の到来に伴い、悪路面の交通事故が増加傾向にあり、日没もさらに早まります。

交通事故防止 POINT

時間と気持ちに余裕を持つた運転を

悪路面により、今までよりも移動時間がかかります。5分前の行動で余裕を持った運転に努めましょう。

早めのヘッドライト点灯と効果的なハイビームの活用

夕暮れ時、早めライト点灯で自分の姿のアピールとハイビームを積極的に活用し、視認性の向上に努めましょう。

車間距離を長めにとった運転を

走行速度の倍の距離を取ることで追突事故の大半を防ぐことができます。

信号機が撤去されました

本年12月中旬に狩川地内の下記信号機が撤去され、一時停止標識による交通規制に変わりました。

至 国道47号

庄内町役場
立川庁舎

国道345号

至 藤島

至 玉坂

担当：交通係

通行の際は、ご注意ください。



よつばっこ通信 第四幼稚園

カメの赤ちゃん誕生！名前は『わかめ』

今年は、どういうわけかカメに関する出来事が多くありました。

8月号の“和合”にも掲載しましたが、捜索していたカメが南野新田付近の田んぼで発見され、奇跡の生還を果たしました。そのカメがお父さんかどうか…分りませんが、7月下旬ある日の早朝、カメの卵が8個産されました。初めて見た卵にびっくり。図鑑やスマホで調べてみると、卵から出てくるまで2ヶ月くらいかかること、触ったりひっくり返したりすると死んでしまうこと、卵の期

間中の温度が26度以上だとメス、それ以下だとオスになることなど、知らないことばかりでした。

ひたすら見守り続け、10月に入る少しひびが入り始め、7日に番号1の卵からかわいい赤ちゃんが出てきました(=写真)。子ども達も大喜び。赤ちゃんがびっくりしないよう、そーと覗いて…「おててちっちゃくてかわいいねー」「最初からカメの形だ！」

「しっぽ長いよ」「赤ちゃんらしいね」「暖かい所に置くと生まれるの？」など様々ななつぶやきが聞かれました。

動き回っている赤ちゃん

カメを見ながら、「名前をつけてあげよう！」とみんなで考え…『わかめ』ちゃんに決まりました。

お父さんお母さん達は冬眠しましたが、赤ちゃんは水槽で冬を越します。春になって親子の対面が楽しめます。



第四小学校

こうなってほしちゃ 和合の里



私は、四小のみんなが思いやりを持って誰にでもやさしくできる和合の里になってもらいたいと思っています。

長谷部 真琴 (古関)



ぼくは、みんなが仲良く元気にすごして、元気なあいさつがいつも聞こえる和合の里というイメージをもってもらいたいです。

工藤 虎生 (返吉)



ぼくは、四小の一人一人が思いあって、やさしく、人に親切をする和合の里になってほしいです。

富樫 陸 (小出新田)



ネコや鳥がたくさんいて、昔のままの工事がない所。自然が豊かな、やさしく明るい人がいて、田畠が多いふるさと。

佐藤 花奈佳 (小出新田)

私が思う和合の里の未来像は、「楽しい」という言葉です。和合の里の人はいい人ばかりなので、楽しい四学区になってほしいです。

秋庭 陽世里 (南野新田)



みんなが笑顔で過ごせるように、ぼくは、農業をがんばりたいです。理由は米がいつまでも食べられるようにしたいからです。

土田 勇斗 (堤新田)

はやぐ、
あっさりなれの～

- ①綺麗な心を持った思いやりのある誠実な人になってほしい。
- ②天気予報
- ③動物園で猿に一生懸命声をかけていた。
- ④服のサイズを間違って買ってしまった。
- ⑤いつも明るく笑っていてください。

上林 華怜 ちゃん
(大真木)
平成27年11月2日生まれ
パパ：恒太 / ママ：春華



渡部 寛人くん
(吉方)
平成27年11月8日生まれ
パパ：千寛 / ママ：恵美子



- ①自分のやりたい事や夢に向かって、大きく翔けるように。
- ②テーブルの上の物や、何でもポイポイ投げる。
- ③物をポイポイ投げて、落ちた物を見ては何度も「あーーっ」と言っていて、笑ってしまった。
- ④お風呂で寒いからといって「肩までつかろうの～」なんて。翔くんお湯をゴクリ。あっ！
- ⑤お兄ちゃん、お姉ちゃん達にも負けずに元気いっぱいの翔。ゆっくり大きくなれ。

渡部 翔くん
(吉方)
平成27年11月17日生まれ
パパ：祐介 / ママ：春奈

パパ・ママにインタビュー

- ①名前の由来は？
- ②今一番の興味やはまっている遊びは？
- ③最近のエピソードは？
- ④パパママの失敗談（子育てあるある）
- ⑤パパママからのメッセージ

こんにちは! 保健師です。



第四学区担当 石川 丁子

“お風呂に入る”その前にチェック!

～冬のお風呂は危険がいっぱい～

<庄内地区の入浴事故の特徴>

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ①入浴事故の119番通報の4人に1人が死亡している。 | ④自宅での入浴事故は死亡につながりやすい。 |
| ②交通事故死より約4倍以上多い。 | ⑤寒い日の発生が多い。 |
| ③高齢者が多い。 | ⑥持病のない人でも発生している。 |

※庄内地区入浴事故実態調査(H21.11.1～H25.4.30)より

①体調が悪い時、お酒を飲んでから、食後(1時間以内)、血压下降剤・安定剤・睡眠薬の服用後は入らない。早朝の入浴は、シャワーだけにとどめましょう。

②脱衣所には暖房機を置き、浴室は浴槽のフタを開けて暖めておく。

③お湯の温度は41℃以下に。

④入浴前後は十分な水分補給をする。

⑤浴槽に入る前は、足・腰などからかけ湯をして体を慣らす。

⑥家族に一言かけてからお風呂に入る。(何かあった時に気付いてもらえる)

⑦浴槽のフタを目の前に置き、半身浴をする。半身浴は心臓への負担を軽くし、もしもの時はフタによりかかることができる。

⑧あがる時はゆっくりと立ち上がる。急に立ち上がると血压が低下する。立ちくらみに注意。



※庄内保健所(庄内41ふろプロジェクト)
「山形県の安全おふろの入浴術」より引用

畑からこんにちは

暖かくなったり寒くなったり、雨が降ったり晴れたりの11月。久しぶりの快晴でぽかぽか陽気に誘われて、畑をのぞいてみた…

畑でここにこ楽しげに作業をする2人の姿を見かけ、お話を伺いました。

榮さんと文子さんは自宅も畑もご近所で、野菜作りの情報交換や作物の出来について話しながら畑仕事に精を出しているそうです。

この日は、白菜やキャベツなどの越冬野菜を収穫し、軽トラックにいっぱい積んで保存場所のビニールハウスに運んでいました。11月に入って天候が悪く、急に寒くなったりして、例年より出来がよくないと話す榮さん。特にブロッコリーは小さいと残念そうでした。

道路を挟んだ文子さんの家では、旦那さんが庭木



樋渡 榮さん 樋渡 文子さん
(堤新田)

に雪囲いをしていました。この時期の貴重な快晴の下、「今のうちに」とそこかしこで急ピッチに冬支度をしている姿が見えました。

榮さんと文子さんは、収穫を終えると「これから畑といっしょに春まで冬眠だ」と言っていました。

まもなくに訪れる寒い冬、保存されている野菜がそれぞれの家庭で鍋を囲む食卓を温めてくれることでしょう。

亀治からのメッセージ なつかしい風景～ちょこっとむかしの農業～

田園に人かけうすく閑散と、寒さこらえてジーッと春を待つ。

倉入れ

高性能の粉碎機や自動秤などの調整機械のなかった昔は、12月になっても「籾けし」作業と並行して倉入れが延々と行われた。米俵を人車・牛馬車などで所轄の倉庫(壳渡米)や蔵(自家用)に入れ、翌秋に新米が収穫されるまで自家消費に当てられた。

現在のように農村部では、お菓子などをふんだんに買えない時代、おやつもうち米やもち米で作られた“おにぎり・あられ・かたもち”がほとんどであった。

ちなみに飯米(保有米)も家族1人当たり1～2俵が当たり前で、10人家族ではうるち米15～20俵、もち米10俵を蔵などで大事に保管し、正月やひな祭り、臘月じよ、秋じよなど、ことあるごとに“もち”をつき、隣近所親戚に振る舞った。

労苦や祝い事を分かち合い、今では想像できないほど、たくさん食べられた。



※おやつ…「御八つ」午後の間食。
三時のおやつ



▲山居倉庫への倉入れ

「目で見る 荘内農業史」より

雪囲い

庄内特有の北風や吹雪の厳しい冬から暮らしを守る「雪囲い」も農村農家の重要な仕事であった。河川敷などに繁殖している“ちがや”を前年に刈っておいた物を数把ずつ、杉丸太で骨組された櫓に縄を使ってくくりつけて造る。村中のほとんどの家で実施された。アルミサッシ戸もなく、家中いたる所に隙間があったので、雪囲いなしでは越冬もままならない時代であった。



俵編み

1月、1俵60kg(4斗俵)で米が出荷や保存された時代、農家は冬仕事として「俵編み」を行った。「藁すぐり」と言って、枯葉などを取り除く下ごしらえも含め、1日に10俵編みのわっぱぐ(ノルマ)をもらって、国(食糧事務所)の検査にも合格できる俵編みに励んだ。

また、「縄ない」も重要な冬仕事で、藁を庭(作業所)に据え付けてある“藁打ち石”の上で藁打ち用の杵を使って打ち、柔らかくしたもので編われた。

ビニール紐などなかった時代、雪囲いや苗代の囲い、牛馬が引く「馬鍬」など用途に合わせて全て縄が使われていた。

藁すぐりで不用になった「こもじ」は、“藁布団”に入れられた。真新しい藁布団のフカフカ感は、忘れられない感触として今も残っている。



企画展「書簡から見た清河八郎」

12月17日(土)～平成29年2月12日(日)

亀ノ尾の里資料館

※12月29日～1月3日は、年末年始休館。1月10日(火)は、全館清掃のため午後5時開館。